

日韓障害者歯科学会学術交流集会

国際渉外委員会

委員長	弘中 祥司
アジア地区担当委員長	柿木 保明
同上 副委員長	野本たかと

「相互の理解と実りある交流および新たな発展をめざして」

日韓学術交流のアクションプランでは、これを定めた初年度、3年目、および5年目の学術大会開催時に交流集会を設けることになっています。第一次アクションプランの最終年の交流集会は2011年に日大松戸歯学部の故妻鹿先生が日韓障害者歯科学会学術交流委員長として担当され開催されました。

今年は、第2次アクションプランが定められてから5年目の最終年にあたります。そこで、これまでの10年間の日韓両国のアクションプランを通じた障害者歯科について相互理解と新たな発展を目指すことを目標として企画いたしました。

本集会は、2つの枠組みから構成されています。第一の枠組みは、日韓障害者歯科学の相互理解とアクションプランの成果と今後の展開について両国の学会(KADH および JSDH)から報告をしていただきます。そして、第2の枠組みでは、iADH 会長でもある弘中祥司先生から、日韓の障害者歯科学会が平成28年度以降のアジア地区での学術交流を推進するための役割と概要について解説をしていただきます。

本集会の開催でアジア地区における障害者歯科学の将来展望を探ることができればと考えています。